

K 広報くにみ Kunimi

Nov.2021
No.580

11

おいしさに
笑顔あふれる

Contents (主な内容)

- ② 国見町の学校給食
- ⑨ 上半期執行状況
- ⑩ 笑顔のひろば
- ⑭ まちのわだい
- ⑳ まちの情報ボックス

国見町の 学校給食

子どもたちに伝える



日本の学校給食は、明治22年に山形県鶴岡町（現鶴岡市）の私立小学校で、家が貧しく弁当を準備できない児童のため、無償で昼食を用意したことが起源とされています。

近年では、偏った栄養摂取や朝食欠食などの食生活の乱れ、肥満・痩身傾向など、子どもたちを取り巻く健康問題は深刻化しています。

子どもたちが食に関する正しい知識と、望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校給食はますます重要な役割を担っていくのではないのでしょうか。

今回の特集では、子どもたちの健康と成長を支える学校給食に関わる人たちの声と、町の取り組みを紹介します。

未来へつなげる町の取り組み

食を学ぶ 食を伝える

食育は、知育・徳育・体育の基礎となり、さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実現することができる人間を育てます。



くにみ幼稚園で定期的に行われる「食育教室」



旬の食材に触れる子どもたち



生のサンマも手づかみで観察



五感を使って食材を観察

食育の推進と実践

町では「食を学び、食を伝える」を基本理念に、食を通じた健康づくりの推進や子どもたちの食育の推進、町の食文化の継承を図るため「国見町食育推進計画」を平成29年に策定しています。

その中で、毎月19日の「食育の日」を「みんなで食べる国見の日」と位置づけています。町産の食材を使用し、家庭や地域で受け継がれてきた家庭料理を作り、家族で食卓を囲むことで、食文化の継承と普及に取り組んでいます。

学校給食費の無償化

令和3年4月から町は、幼稚園・小学校・中学校の給食費を無償化しています。今年度新たに策定した第6次国見町総合計画にある、「未来につながるまちづくり」の一環として子育て世代の経済的負担を軽減し、子育てしやすい環境の実現を目指します。

また、学校給食費無償化を町の魅力として発信し、子育て世代の定住や転出の抑制に取り組めます。



国見町給食センター
調理員 安達 淳子さん

安全で安心な給食を 食べてもらいたい

子どもたちの「おいしかった」を聞くために、衛生管理を徹底し、愛情を込めて調理しています。

子どもたちのために
給食への異物混入は、絶対に起こらないように気を付けています。食材の納入業者にも確認をお願いしていますが、洗浄や調理の際にあらためて目視で確認をしています。袋の欠片が混入しないよう、袋の切り方にも気を付けています。また、当たり前のことですが身だしなみにも気を遣い、常に清潔でいられるよう心がけています。



国見町給食センター
副主任栄養技師 蓬田 麻衣さん

給食を通して伝える 食事の大切さ

食事のバランスはもちろん、子どもたちに楽しんでもらえるよう、工夫しながら毎日の献立を考えています。

食育へつなげる
道の駅や町内の業者に協力してもらい、町産の食材を献立に取り入れています。旬の野菜を提供できるので、地産地消に取り組みやすい環境づくりができています。町産や県産の食材にこだわって給食を提供したいと考えています。国見町食卓図鑑から毎月一つの郷土料理を献立に取り入れたり、給食時の校内放送でその日の給食を紹介する「くにみランチタイム」など、さまざまな取り組みを行っています。

次の世代につなげる
私の子どもたちも町の給食を食べて育ちました。私たちが調理した給食を食べた大きくなったと思うと、少し誇らしい気持ちになります。数年後には、孫が給食を食べるようになります。そのことを考えると本当に嬉しいし、楽しみです。

次の世代につなげる

残菜が少ないときは仕事のやりがいを感じます。子どもたちが残さず給食を食べてくれると、とても嬉しい気持ちになります。残菜が多いときは職員で話し合いをし、どうすれば子どもたちにおいしく食べてもらえるのか検討しています。

仕事のやりがい

たくさん給食を調理しているため、食材やできあがった料理を運ぶ際は大変です。この仕事は身体が資本なので、健康には十分注意し、子どもたちが楽しみにしている給食を決まった時間に提供できるように、体調管理を行っています。戻ってきた食缶を見て、残菜が少ないときは仕事のやりがいを感じます。子どもたちが残さず給食を食べ

献立に込める思い
給食の献立は、子どもたちに楽しんでもらえるものを目指して作成しています。苦手なものでも、口にしてもらえるように他の食材と組み合わせ、食べやすいようにしています。提供されたものをただ当たり前に食べるのではなく、その一食を作るためにたくさんの方が関わっていること、その人たちが給食に込めた思いを感じてもらえたら嬉しいです。また、献立は子どもたちの将来のことも考えて作成しています。給食を食べることで、食事のバランスを学んだり、自分で食事を作るようになった時に、少しでも役立ててもらいたいと思っています。

土料理を給食で提供する「みんなで食べる国見の日」では、どれも「家庭の味」を感じてもらえていると思います。

給食ができるまで



▼10月20日の給食は、食卓図鑑から「かぼちゃすいとんみそ汁」が提供されました

よくかむ献立
かみごたえのある食品や料理を献立に取り入れています。

日本型の食事
ご飯を主食とし、主菜・副菜・汁物がそろい、栄養バランスの良い一汁二菜の献立を実施しています。

食物アレルギーへの対応
食材のアレルギー物質を確認し、個別の予定献立表を作成。必要に応じて除去食や代替食を提供します。(医師の診断書必須)

放射線物質検査
給食は仕上がりと同時に、放射能測定装置で検査しています。毎日5食分の給食を検査(モニタリング検査)し、結果は町のホームページで毎月公表しています。

食文化の継承
郷土食や季節ごとの行事食を取り入れたり、国見町食卓図鑑から献立を採用しています。

調理方法の工夫
昆布・かつお節などでだしを取り、できるだけ薄味にするなど、味覚の発達を意識して調理します。

その1: 伊ワシのかりかりフライ
その2: ぶた肉のうま煮
その3: ごはん(国見町産)
その4: 牛乳
その5: かぼちゃすいとんみそ汁
その6: 食文化の継承

給食に込められたメッセージ

給食に

寄せる思い

会話を楽しむ給食の時間は、コロナ禍によって大きく変化し「黙食」という新しい形に。一人で食べる給食も、子どもたちには楽しみな時間。こんな時代だからこそ、先生や保護者も給食の大切さを感じています。



給食の時間が待ち遠しい

国見小学校2年
大波 颯馬 さん

給食はおいしくて大好きです。なかでもパンが大好きで、コッパンや黒パン、いろいろな種類のパンが出てくるので、いつも楽しみにしています。毎日おいしい給食が出てくるし、嫌いなものが無いので残さずに食べています。友達と一緒に食べる給食の時間が楽しくて、いつも給食の時間が早く来てほしいなと思っています。



みんなで食べるとおいしい

国見小学校2年
安齋 奈々緒 さん

わたしは給食のなかで、カレーが1番好きです。今日のメニューがカレーだったのでとてもうれしかったです。家族といっしょに食べる食事もおいしいけど、みんなで食べる給食はもっとおいしく感じるので、毎日の給食の時間が楽しみです。好き嫌いをしないように気を付けているので、毎日給食を残さないようにがんばっています。

感謝の気持ちを持って給食を食べてほしい

町の給食では、地産地消を推進する「みんなで食べる国見の日」を設けています。この取り組みは、幼いころから郷土愛を育むために大切なことだと思うので、今後も継続してほしいと思います。

給食には苦手なものや食べられないものも出てきます。そんな時には、子どもたちに一口だけでも食べるよう、担任の先生に声かけをお願いしています。給食に関わる人たちに感謝の気

持ちを持つことが大事だと考えています。

食事をする際は、独りではなく誰かと一緒に食べることで、消化吸収や味覚の感じ方に差が出るといわれています。コロナ禍の今、給食中は話ができず、黙食をしなくてはならない状況になっているので、とても残念に感じています。以前のように、みんなで楽しくコミュニケーションを取りながら、給食を食べられるような環境に早く戻ることを願っています。



国見小学校
荒川 美佐枝 先生

給食のありがたさを感じています



保護者(国見小)
富田 可奈枝 さん

給食では旬のものやご当地メニューなど、普段の食事では食べられないものを提供してもらえるので、ありがたいと思っています。お弁当とは違い、温かいものは温かく、冷たいものは冷たいままでおいしく提供していただけることもあるし、苦手なものでもみんなと一緒に無理なく食べられるのではないかと思います。

保護者としても、献立表を見る楽しみがあります。フルーツやデザートが出る時は、子ども

がとても楽しみにしています。朝は献立表と一緒に見ながら話をして、夕食のメニューが被らないように気を付けています。

少ない予算の中で、栄養のバランスが取れた給食を提供していただいていたのに、今年度から給食費が無償化されたことは本当に助かっています。町が子育て支援に力を入れてくれたので、浮いた分のお金を子どものために役立てることができています。

給食は、「食べる時間の勉強」ともいわれています。みんなで一緒に食べる給食は、栄養や食材に関する知識や食事の作法を学ぶ場となります。また、地域の家庭料理や行事食などを積極的に給食に取り入れることで、町の食文化の継承にもつながっています。

子どもたちが大好きな給食。その一食には多くの人が関わり、子どもたちの健やかな成長を願う思いが込められています。

いつでも安全で、安心できるおいしい給食を食べてもらいたい。そして、食事や健康について自分で考え、実践する力を身に付けてほしい――

毎日の給食に込められた、たくさん人の愛情は最高の調味料。給食に関わる人たち全員が、子どもたちのことを第一に考えている。そんな「あつたかい」給食のありがたさを、もう一度考えてみませんか。

給食に込められた思い ――
たくさんの人に感謝して
「いただきます」

令和3年度 上半期 執行状況

令和3年4月1日から9月30日までの上半期の町事業執行状況をお知らせします。

一般会計では、予算総額70億51万1千円（令和2年度からの繰越事業費分も含む）に対し、収入済額が34億6,224万4千円（収入率49.46%）、支出済額が26億5,621万6千円（執行率34.55%）となっています。また、各特別会計及び起債残高などは次のとおりです。各会計とも概ね計画どおりに事業が進められています。

■一般会計

【歳入】 (千円)			
区分	予算現額	収入済額	収入率(%)
町税	873,100	593,768	68.00
地方譲与税	49,000	17,598	35.91
各種交付金	183,100	129,965	70.98
地方交付税	2,362,345	1,751,941	74.16
分担金および負担金	65,034	29,300	45.05
使用料および手数料	78,575	39,537	50.32
国庫支出金	980,878	88,566	15.64
県支出金	917,775	44,236	4.82
財産収入	1,898	641	33.77
寄附金	127,902	69,933	54.68
繰入金	402,757	56	0.01
繰越金	252,626	677,019	345.79
諸収入	82,575	19,774	23.95
町債	622,946	0	0.00
合計	7,000,511	3,462,244	49.46

【歳出】 (千円)			
区分	予算現額	支出済額	執行率(%)
議会費	75,579	38,945	51.53
総務費	994,227	372,421	37.38
民生費	1,255,429	533,482	42.50
衛生費	1,260,223	342,271	27.16
労働費	6,221	6,221	100.00
農林水産業費	424,344	80,965	21.15
商工費	92,676	43,097	46.50
土木費	591,421	267,911	43.47
消防費	666,399	224,972	33.76
教育費	713,696	539,498	38.47
災害復旧費	523,107	73,264	3.38
公債費	392,188	133,168	33.96
諸支出金	1	0	0.00
予備費	5,000	0	0.00
合計	7,000,511	2,656,216	34.55

■特別会計

(千円)					
会計名	予算現額	収入済額	収入率(%)	支出済額	執行率(%)
大木戸財産区特別会計	157	177	112.99	83	52.68
入山財産区特別会計	194	221	114.15	50	25.70
公共下水道事業特別会計	271,834	112,664	41.45	105,510	38.81
後期高齢者医療特別会計	136,856	53,423	39.04	50,434	36.85
国民健康保険特別会計	1,132,688	489,982	43.26	457,699	40.41
介護保険特別会計（保険事業勘定）	1,525,799	734,198	48.12	590,942	38.73
土地開発事業特別会計	4	73	1,832.08	0	0.00
湧水対策施設特別会計	9,402	6,413	68.21	8,531	90.73

■石母田財産区・北山組合一般会計

(千円)					
会計名	予算現額	収入済額	収入率(%)	支出済額	執行率(%)
石母田財産区一般会計	593	1533	258.46	228	38.47
北山組合一般会計	769	807	104.94	185	24.08

■水道事業会計

区分	収入		支出	
	予算現額	収入済額	予算現額	支出済額
収益的収支	253,389	123,689	257,358	61,202
資本的収支	49,720	0	95,838	10,347

■町債残高

区分	9月末残高
一般会計	5,698,787
水道事業	334,164
公共下水道事業	1,259,595
合計	7,292,546

総務課財政係 ☎ 585-2114

今年も各地の”特産品”が大集合

— くにみマルシェが開催 —

農産物等の風評対策として「くにみマルシェ」が10月23日と24日、道の駅国見あつかしの郷で開催されました。当日は、町と交流のある岩手県平泉町や栃木県茂木町、岐阜県池田町をはじめとする県内外の道の駅や、町内商店などがの出店。旬の農産物や各地の名物を求める人で賑わいを見せました。

町内で丹精込めて育てた特選野菜やコメをはじめ、6次化商品も販売。特別栽培米「くにみ米」の食べ比べなどの試食販売も行われ、生産者らが

会場を訪れた人たちは、ズラリと並んだ各地自慢のグルメや特産品に舌鼓をうち、秋の味覚を満喫。会場のあちらこちらから「おいしい!!」の声が聞こえた2日間となりました。



1_各地の特産品や秋の味覚をPR 2_町産をはじめとした旬の特選野菜がたくさん 3_2日間限定で「ももたんFM」が復活 4_来場者には手指消毒など感染防止対策のお願い

出場選手

区間	氏名	所属
団長	村上 俊弘	吉田電気工業(株)
監督	佐藤 温史	国見町役場
コーチ	佐久間光雄	国見町体育協会
コーチ	中野 貴大	理工産業(株)
1区	高橋 香澄	筑波大4年
2区	宇之澤和貴	福島県立医科大学
3区	齋藤 春稀	福島商業高校2年
4区	戸田 良樹	国見町役場
5区	佐藤 温史	国見町役場
6区	佐久間義弘	エッセンス(株)
7区	鎌水 裕人	県北中学校3年
8区	高橋 岳斗	県北中学校3年
9区	末永 愛羅	県北中学校2年
10区	山田 哲也	自衛隊滝ヶ原
11区	武田 実黎	福島高校3年
12区	岩城 賢明	(株)トスネット南東北
13区	中野 貴大	理工産業(株)
14区	佐藤 大雅	福島西高校3年
15区	菊地 凜	(株)ヤクルト本社福島工場
16区	後藤 仁志	伊達地方衛生処理組合
補欠	佐久間光雄	国見町体育協会
補欠	鈴木 英統	(株)国見メディアデバイス
補欠	佐藤悠貴也	国士館大2年
補欠	半澤 滉憲	福島工業高校2年
補欠	古川 楓	県北中学校3年
補欠	山浦 樹	県北中学校1年
補欠	鈴木ほのか	国見町駅伝部
補欠	岡崎 玲奈	県北中学校2年



応援よろしくお願いします!

タスキに込めた思いをつなぐ

— 第33回ふくしま駅伝 国見町チーム選手結団式 —

11月21日(日)に開催される「第33回ふくしま駅伝」に先立ち、国見町チーム選手団の結団式が10月31日、上野台体育館で行われ、選手のみならず力が力を誓いました。駅伝は、しらかわカッタースポーツパーク(白河市)を午前7時40分にスタートし、ゴールの福島県庁までの16区間95.0kmをタスキでつなぎます。

今年度も沿道での応援は自粛となるため、テレビやラジオ、WEB配信で国見町チーム(ナンバーカード「15」)をみんなで応援しましょう!

国見小学校運動会

10月18日



県北中学校 第53回柏葉祭 10月17日



くにみ幼稚園運動会 10月2日



スポーツと文化の秋 笑顔のひろば



藤田保育所運動会 10月8日



国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



未来へ伝えたい色鮮やかな風景を描く 中尊寺蓮絵画コンクール表彰式

「第8回国見町に咲く中尊寺蓮絵画コンクール」が今年も行われ、町内外から199点の応募がありました。

コンクールの表彰式は9月26日、観月台文化センターで開催され、各部門の最優秀賞受賞者5名が出席しました。

表彰式では、引地真町長と(一社)二重堀サポートネットワークの氏家博昭理事から受賞者の皆さんへ賞状と記念品が手渡されました。



記念品を受け取る受賞者

最優秀賞受賞者インタビュー

パパが絵を描くので、僕も毎日絵を描いています。

あつかし千年公園に行って虫とりをしたので、虫も描きました。ハスの花びらを描くのが難しかったです。

初めての応募で最優秀賞をとることができました。また応募したいです。



齋藤 浩太郎さん
(国見小1年)

1年生の頃から毎年応募しています。今までは優秀賞だったので、今回初めて最優秀賞をもらえて嬉しかったです。

ハスの葉と水の色を明るく描きました。防塁を描くのが大変でした。



齋藤 葵さん
(国見小4年)

※受賞作品は国見郵便局(11/8～11/25)、福島信用金庫国見支店(11/25～12/15)で展示されます。ぜひご覧ください。

内谷春日神社太々神楽 子ども太々神楽教室開講中

子ども太々神楽教室が10月2日に開講し、毎週土曜日に内谷春日神社で行われています。

今年も受講生が内谷春日神社太々神楽保存会(佐藤清二会長)の皆さんから、舞やお囃子の指導を受けながら、神楽の担い手として活躍するため練習に励んでいます。

11月27日まで開講していますので、参加したい方は企画調整課地域振興係までお問い合わせください。



神楽教室の様子

歴史まちインフォメーション

募集中

～あつかし歴史館町民講座～

菊池利雄先生の研究・資料を読む会

「羽州街道と小坂峠」

～奥羽両国を結ぶ街道と峠道を行けば～

日時 11月24日(日) 午前10時～午前11時30分
午後1時30分～午後3時

場所 あつかし歴史館

定員 各回15名程度 ※電話予約制

申込み あつかし歴史館 ☎ 585-4520

※今年度は1日2回開催しています。(内容は2回とも同じです。)



地域おこし協力隊
田邊 愛恵

地域おこし協力隊活動日記 vol.14 子どもたちの可能性を信じて



こんにちは!! 地域おこし協力隊の田邊愛恵(たなべまなえ)です。今年4月より移住し、早くも半年が経ちました。

現在、私は「放課後塾ハル 小学部」のスタッフとして活動しています。小学部は2学期スタートと同時に開塾し、現在40名の子どもたちと算数の授業を始め、子どもたちの社会に対するワクワク、興味関心を広げる「テーマ授業」など、将来をともに見据えながら日々を過ごしています。

私は、この放課後塾ハル小学部を通して、子どもたちに将来の可能性をどんどん広げていってほしいと考えています。何が起るか予測できない現代社会において、自分の将来を考えるのは難しいことです。しかし、だれにも10年後、20年後の自分や社会がどうなっているか分からないからこそ、そこに可能性を感じてチャレンジできる強い心が現代において重要なのではないのでしょうか。私自身もまだまだ至らぬ点がありますが、ハルを通して子どもたちが少しでも将来を「見晴らす」ことができるよう努めていきますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



企画調整課総合政策係 585-2217



八島 奎祐「つるからみた宇宙」



堀江 咲羽「5色のにじ」



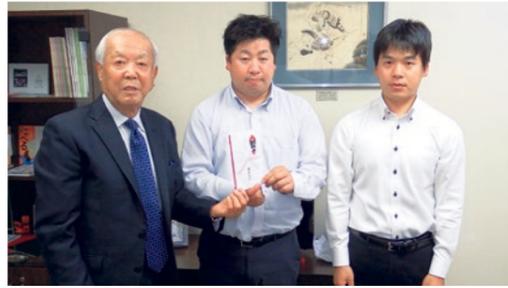
佐々木 桃香「花とハチ」



片平 采「夜の星」

国見小学校(6年生・ヤジロベエ)

心豊かな未来を



激励金を手渡す野村義悦さん (左)

国見町チームの活躍を願って 野村義悦さんが町ソフトボールチームに寄付

野村義悦さん (大町南) は 10 月 14 日、町教育委員会を訪れ、町体育協会ソフトボール部の活動に役立ててほしいと激励金の寄付を行いました。

観月台文化センターで贈呈式が行われ、野村さんが町ソフトボール部事務局の滝澤瑞希さんと松浦昭太さんに激励金を手渡しました。



意见书を手渡す渋谷会長 (右) と農業委員の皆さん

米の需給改善と米価下落対策を求めて 農業委員会が意见书を提出

町農業委員会 (渋谷福重会長) は 10 月 15 日、「米の需給改善と米価下落対策を求める意见书」を引地真町長へ提出しました。意见书は、新型コロナウイルス感染症拡大による米の需要減少に伴う過剰在庫、さらに今後見込まれる米価下落に対し、町の基幹産業である農業経営と地域経済を守るための対策を求めたものです。



今年もありがとうございます

熟練の技で町をきれいに シルバー人材センターが奉仕作業

国見町シルバー人材センター (武田智理事長) は 10 月 16 日、観月台文化センター周辺の清掃奉仕作業を行いました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、奉仕作業には同センター会員 50 名が参加し、施設周辺の草むしりやごみ拾いを行いました。この取り組みは、毎年 10 月 15 日のシルバーの日に合わせて行われています。



宝物 (お菓子) を見つけて笑顔の子どもたち

ハッピーハロウィン!! くにみもたん広場ハロウィン

くにみもたん広場では 10 月 23 日・24 日に、季節のイベントとしてハロウィンイベントを行いました。

来場した子どもたちは、スタッフ手作りのパネルの前で写真撮影をしたり、隠されたお菓子を見つける宝探しゲームに参加するなど、楽しいひとときを過ごしハロウィンを満喫していました。



ホームインする武澤優磨選手

チーム一丸で熱戦を繰り広げる 第 8 回市町村対抗福島県ソフトボール大会

市町村対抗福島県ソフトボール大会 2 回戦が 10 月 24 日、相馬光陽ソフトボール場で行われ、国見町は中島村と対戦しました。4 回に中島村に 2 点を先制されるも、5 回には満塁のチャンスを作り 1 点を返します。その後も積極的なプレーを続けますが、1 対 2 で惜敗しました。町チームの粘り強い戦いぶりに声援と拍手が送られました。



松浦知弘代表 (右) と紺野徹会長 (中央)

子育て支援に役立てて 国見ライオンズクラブが活動支援金を贈呈

国見ライオンズクラブ (紺野徹会長) は 10 月 6 日、町のボランティアグループが運営する放課後クッキングクラブへ活動支援金の贈呈を行いました。支援金を受け取った放課後クッキングクラブ代表の松浦知弘さんは「子どもたちのために大切にに使わせていただきます」と述べました。この取り組みは、次年度以降も継続して行われる予定です。



マスクの付け方を確認する児童たち

感染症対策に役立てて 幼稚園・小学校・中学校へマスク配布

町は新型コロナウイルス感染症対策として、幼稚園・小学校・中学校の子どもたちへ不織布マスクを 1 箱ずつ配布しました。国見小学校では 10 月 7 日に全校生徒へ配布。当日はマスクの着用方法など感染症対策のための指導も行われました。5 年 2 組の佐藤由奈さんは「マスクを安全に着けて感染防止をして、感染者を減らしたい」と話しました。



安全を祈願し鍬入れを行う引地町長

子育て世帯の移住定住促進にむけて 国見町定住化促進住宅の新築工事地鎮祭

10 月 8 日、定住化促進住宅の新築工事地鎮祭が建設予定地の国見ニュータウンで執り行われました。移住定住促進事業として、子育て世帯が住みたくくなるような定住化促進住宅 (賃貸住宅) の整備事業を、福島市の八巻興業 (株) と官民連携で進めています。建設工事は来年 3 月に竣工予定で、4 月から入居開始。入居者募集は今年 12 月頃を予定しています。



引地町長から花束を受け取る佐藤さん

元気に長生きしてください 佐藤トヨ子さん 100 歳のお祝い

100 歳を迎えた佐藤トヨ子さんへの県知事賀寿と町敬老祝金の贈呈式が 10 月 13 日、佐藤さんの自宅で行われました。引地真町長が知事賀寿、敬老祝金、花束をそれぞれ手渡し、佐藤さんの 100 歳を祝いました。

佐藤さんの長寿の秘訣は、「家族一緒に、みんなで仲良くご飯を食べること」と話していました。



木賀順一国見郵便局長 (左) と佐藤陽鞠図書委員長 (右)

郵便のことをもっと知ってほしい 国見郵便局が国見小学校へ絵本を贈呈

国見郵便局は 10 月 13 日、国見小学校へ日本郵政のマスコットキャラクターのぼすくまが登場する絵本「ぼすくまです!」を贈呈しました。ぼすくまのデザインを担当した中丸ひとみさんは会津若松市出身。福島県内の子どもたちにこの絵本を読んでもらい、郵便に興味を持つきっかけになってほしいとの思いから今回の絵本贈呈となりました。

国見町子育て世代包括支援センター

ももさぽインフォメーション

ニコニコ相談会

実施日 1月19日(木)
時間 午前10時～午前11時
会場 子育て支援センター(藤田保育所内)
対象者 国見町在住の妊婦
 国見町在住の乳児及び保護者
持ち物 母子健康手帳、お子さんの飲み物
申込み 前日までにほけん課保健係又は
 藤田保育所(☎585-2374)へ連絡

乳児健診

実施日 1月20日(金)
受付時間 午後1時15分～午後1時45分
会場 観月台文化センター 第1和室
対象者 3か月児(令和3年9月生まれ)
 9か月児(令和3年3月生まれ)
持ち物 母子健康手帳、オムツなど
内容 医師の診察、身体測定、調乳、離乳、
 予防接種などについて

3歳児健診

実施日 1月11日(木)
受付時間 午後1時30分～午後1時45分
会場 森江野町民センター
対象者 平成30年7月1日～
 8月31日生まれ
持ち物 母子健康手帳
内容 医師の診察、身体測定、視力・聴力
 検査など

『ももさぽ』相談の一む

役場の1階にあります。妊娠中のこと、赤ちゃんの育児のことなど気軽にお話できるお部屋です。助産師、保健師、栄養士とお話できます。(ほけん課保健係にお声掛けください)



けんこう 健口キッズ

10月5日に実施した3歳児健診で、むし歯が1本もなかったお子さんたちです。



保健 だより



ほけん課 保健係 ☎585-2783
 E-mail:hoken@town.kunimi.fukushima.jp

院長先生の診察室から

【第1回】



国見町の皆さん、こんにちは。公立藤田総合病院院長の近藤祐一郎です。保健だよりに「院長先生の診察室から」を毎月掲載させていただくことになりました。医療の話題だけでなく、毎日の生活に役立つ話もできるだけ分かりやすく書いていきたいと考えています。

最近の一番の話題は新型コロナウイルス感染症ですね。ワクチン接種はお済みでしょうか？ワクチンは感染、入院、重症化、死亡者数を減らすことがはっきりと証明されていますので、積極的に接種を受けましょう。不安のある方は、かかりつけの医師にご相談ください。2回接種することが重要です。よろしくお祈りします。



いのちを救う 愛の献血にご協力を！

11月25日(木)は国見町の献血の日です。

場所	受付時間
国見町役場 駐車場	午前9時から午前10時30分
(株)清水製作所	午前11時から正午
(株)福梁製作所	午後1時30分から午後2時30分
公立藤田総合病院	午後3時から午後5時



食育シリーズ



町では、食生活改善推進員のみなさんと栄養士が、くにみ幼稚園の子どもたちを対象に食育教室を開催しています。10月は次の内容で実施しました。



食材をよく観察しました(年少組)



食事のマナーを学びました(年中組)



旬の食材に触れました(年長組)

生涯学習 つうしん

国見町教育委員会生涯学習課
 (親月台文化センター)
 ☎(585)2676 FAX(585)2707
 E-mail shogai@town.kunimi.fukushima.jp
 https://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/kangetsudai/

リュッケ じかん LYKKE 時間

第32話「子どもの声を社会に届ける時間」

北欧では、“社会に子どもが参加する”ことを大切にします。それは、保育や教育においても言えることで、保育内容や教育内容、評価にも子どもの声が反映されます。コロナ禍においても北欧の首相は真っ先に、子ども達に向けてメッセージを発信しました。家庭では、家族の話し合いの場に子どもも積極的に参加します。保育園や幼稚園では、子ども会議と呼ばれる時間があり、子どもと大人、子ども同士で対話を重ねます。どんな年齢でも、その年齢なりに社会に参加していく。このような経験の積み重ねが、子どもの社会参加を実現させています。

子ども同士の話し合いの声も社会に届いています
 文：柴田千賀子 (国見町出身の保育研究者。仙台大学教授)

「おはなし会」を鑑賞しよう 子ども司書活動



絵本だけでなく人形も使ったよみきかせ

子ども司書活動では10月2日に「よみきかせみずく」の皆さんによる、「おはなし会」を鑑賞しました。おはなし会に参加した未就学児の親子と一緒に、対象年齢別に合わせた大型絵本などのよみきかせを楽しみました。

鑑賞を終えた子ども司書からは「小さい頃に読んでもらった大好きな絵本だったので嬉しかった」「語りかけるように読んでいてすごいと思った」という素直な感想が聞かれ、今



たくさんの絵本とふれあいました

まで学習してきた内容を振り返るとともに、新たな学びとなる良い機会となりました。

さまざまな跳び方に挑戦 少年仲間づくり教室



みんなで協力して「長縄跳び」

少年仲間づくり教室の第6回活動「なわとび教室」が10月9日に行われ、教室生23名が参加しました。

町公民館職員が講師を務め、教室生は16種類のなわとびに挑戦しました。それぞれ30秒間に何回飛べたかをチャレンジカードに記録し、ごほうびシールを貼りました。飛び方が分からない「かえしとび」もあり、講師の指導の下、真剣に取り組まれました。

後半は、2班に分かれて長なわとびを実施しました。班ごとに意見を出し、さまざまな飛び方を工夫して楽しみました。

最後には、2本の縄を回して飛ぶ「ダブルダッチ」に挑戦し、失敗しても何度も取り組む姿が見られました。

国見ならではのクラブとは 総合型スポーツクラブ視察



クラブマネジャーの説明を熱心に聞く参加者

総合型地域スポーツクラブは、自主運営のもと「いつでも」「誰でも」「好きなレベルで」「世代を超えて」「いろいろなスポーツを」「いつまでも」楽しむことができる地域のスポーツコミュニティ団体です。体育面のみならず文化活動や保健・福祉の観点からも健康づくりが期待されています。

町では、総合型地域スポーツクラブ設立検討委員会

会を設置し、町ならではのクラブの在り方について随時検討を進めています。

9月25日には5回目の委員会が開催され、かがみいしスポーツクラブ(鏡石町)といわしろふれあいスポーツクラブ(二本松市)を視察しました。

現地のクラブマネジャーに活動施設を案内していただいたり、クラブ設立までの経緯や現在のクラブ運営の状況について説明していただきました。

また、10月14日に開催された6回目の委員会では、



現地視察も行いました

視察中に気づいた点などを共有し、どのような部分か、クラブマネジャーの人材確保はどのようにするべきかなどについて話し合いました。

食育と子どもの成長について学ぶ 家庭教育講座(食育セミナー)



食育について講義をする植松みち子先生

家庭教育講座「子育て学習講座」が10月6日、令和4年度国見小学校入学予定児童の保護者を対象に行われました。講師として、福島県青少年育成県民会議より保健師の植松みち子先生を迎え、食育の重要性についての講話をしていただきました。参加者は熱心にメモを取り、講話に聞き入っていました。

エコバックを作ろう 国見つ子わんぱく広場



思い思いの野菜スタンプを押す児童

国見つ子わんぱく広場では10月9日に児童51名が参加し、野菜スタンプを押したエコバック作りを行いました。テーブルにはレンコン、オクラ、ピーマンなど様々な種類の野菜が並べられ、児童らは迷いながらも好きな野菜を手に取り、楽しみながらスタンプを押しました。

また、スタッフや友達に自分の作品について話をし



「高く積み上げたよ!!」

たり、創造力をはたらかせ一枚の絵のように仕上げるなど、意欲的に取り組む姿が見られました。

サブ活動では、絵本の読み聞かせ、マンカラ、積み木、絵合わせパズルのコーナーを自由に行き来し、それぞれに好きな遊びを楽しみました。

宝くじ文化講演 東京名人会



落語 春風亭昇太 落語 林家三平

日時 令和4年2月2日(日)
 開演 18:30 (開場 18:00)
 会場 親月台文化センター ホール
 全席指定 前売 2,000円 (当日 2,500円)
 12月4日(日) 9:00 前売開始

宝くじの助成により、特別料金となっています。
 ※未就学児の同伴・入場はご遠慮ください。
 ※前売りで完売した場合は、当日券はございません。



お知らせ

新春賀詞交歓会を中止します

毎年1月の年始めに開催して... 新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、中止することといたしました。

総務課庶務係 585-2112

子ども医療費助成は被保険者証も提示してください

令和3年10月からマイナンバーカードを被保険者証として利用できる本格運用が開始されました。

午後7時まで ※13日(土)と14日(日)は午前10時から午後5時まで 電話番号 0570-070-810

専門職による障がいに関する講話のほか、自らの障がいや疾患の経験を生かした活動するピアサポーターからの実体験の発表を通じて、障がい者の基本的理解、関わり方を深めることを目的とした障がい者サポーター養成講座を開催します。

医療機関等の窓口で一部負担金の支払いを求められてしまう可能性があります。

子ども医療費助成の対象者がマイナンバーカードを被保険者証として利用する場合は、必ず「国民健康保険被保険者証」もあわせて医療機関に提示してください。

ほけん課国保係 585-2785

「2022年版福島県民手帳」販売のお知らせ

福島県統計協会では、10月より「2022年版福島県民手帳」を販売しています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は町内会回覧による販売は行いませんので、購入希望の方は販売場所または書店等でお買い求めください。

価格 600円(税込) 主な内容 月間・年間スケジュール、県内の主な行

人権擁護委員に相談してみませんか?

人権擁護委員は町の相談パートナーです。町では現在4人の人権擁護委員が活躍しています。相談内容は、いじめ、虐待、差別、いやがらせ、家庭内問題等

日時 令和3年12月8日 午前9時から正午 場所 観月台文化センター第1和室

福祉課社会福祉係 585-2793



事、充実した統計データ、県内観光施設の割引パスポートなど

販売場所 国見町役場2階企画調整課 販売期間 令和3年12月23日(土)まで

企画調整課総合政策係 585-2217

携帯電話の新たな電波帯利用に伴うテレビ受信障害対策の実施

携帯電話事業者により、新たな電波帯(700MHz帯)の利用開始が進められています。令和3年12月に試験電波の発射が予定されており、石母田・大木戸・貝田・光明寺・高城・徳江・西大枝・森山地区の一部のお宅では、テレビに「映像が乱れる」「映らない」といった影響が出る場合があります。

影響が出る可能性が高いお宅には、携帯電話事業者

農業委員会

11月の農業委員会定例会は次のとおりです。傍聴においでください。

日時 11月16日(日) 午後1時30分から 場所 役場2階 大会議室

農業委員会事務局 585-2890

令和3年11月教育委員会定例会

11月の教育委員会定例会は次のとおりです。傍聴においでください。

日時 11月10日(日) 午前10時から 場所 くにも幼稚園 案件 決まり次第、町HPで掲載します。

学校教育課 585-2892

12月の各種相談会

『障がい者相談』

日時 12月21日(日) 午前10時~午後4時 場所 観月台文化センター 第2和室 相談員 NPO法人「ひびきの会」

『国見町結婚世話やき人 月例相談会』

日時 12月26日(日) 午前10時~午後2時 場所 観月台文化センター 第2研修室

『心配ごと相談』

日時 12月8日(日)、12月23日(日) 午前9時~正午 場所 観月台文化センター 第2和室 ※12月8日(日)は第1和室 相談員 民生児童委員ほか

※秘密は厳守、相談無料です。

福祉課社会福祉係 585-2793

マイナンバーカードに関するお知らせ

11月のマイナンバーカード休日臨時窓口をお知らせします。まだマイナンバーカードを持っていない方は、この機会にぜひマイナンバーカードを作りましょう。

日時 11月28日(日) 午前9時~午後4時 受付場所 住民防災課戸籍係(緑の窓口1番)

住民防災課戸籍係 585-2115

種の教員免許状を所有する方 ▼募集期間 令和3年度講師は随時募集中、令和4年度講師は11月頃から募集開始 県北教育事務所 521-2815

全国一斉「女性のホットライン」強化週間の実施

福島県地方自治体と福島県人権擁護委員連合会は11月12日(金)から11月18日(木)までの7日間、全国一斉「女性のホットライン」強化週間として、夫・パートナーからの暴力やストーカーなど女性をめぐるさまざまな人権問題の解決を図るため、電話相談の取り組みを強化します。

期間 令和3年11月12日(金)から11月18日(木)までの7日間 時間 午前8時30分から

Advertisement for eLTAX (地方税の電子総窓口) with benefits like online payment and reporting.

11/9 火	・広報くにみ 11月号発行日 ・移動図書館創作活動 (3年生) ・いきいきサロン第3 (午前10時～) 太田川 (午後1時半～)
10 水	・イキイキ子育てクラブ ・粗大ごみ収集日 ・いきいきサロン藤田 (午前10時～) 耕谷 (午後1時半～) ・心配ごと相談 (児童相談) ・3学級合同町長講話
11 木	・移動図書館 (1年生)
12 金	・いきいきサロン第8・第9 (午後1時半～)
13 土	・国見っ子わんぱく広場 ・少年仲間づくり教室
14 日	・ピラティス教室 (1回目)
15 月	・いきいきサロン泉田下 (午前10時～) ・いきいきサロン山根 (午前10時～) 徳北・第7 (午後1時半～)
16 火	・障がい者相談 ・移動図書館 (3年生)
17 水	・いきいきサロン第1 (午後1時半～) ・ニコニコ相談会
18 木	・いきいきサロン第2 (午後1時半～)
19 金	・いきいきサロン大木戸 (午後1時半～)
20 土	・晴れ photo in くにみ 2021 ・ふくしま駅伝 ・ピラティス教室 (2回目) ・ジュニア応援団
21 日	・いきいきサロン板橋 (午前10時～)
22 月	
23 火	・いきいきサロン貝田 (午後1時半～) ・イキイキ子育てクラブ ・粗大ごみ収集日
24 水	・終活・相続講座 (1回目) ・いきいきサロン泉田中 (午前10時～) 大枝 (午後1時半～) ・心配ごと相談 ・乳幼児健診 (3・9か月) ・移動図書館 (2年生) ・ブックスタート
25 木	・いきいきサロン源宗山 (午前10時～) 光明寺 (午後1時半～)
26 金	・親子クッキング教室 ・結婚世話やき人相談会 ・松本蘭ヴァイオリンコンサート ・ピラティス教室 (3回目)
27 土	・いきいきサロン高城 (午後1時半～)
28 日	・いきいきサロン石母田 (午後1時半～)
29 月	
30 火	
12/1 水	・いきいきサロン太田川 (午後1時半～)
2 木	・いきいきサロン塚野田 (午後1時半～)
3 金	・いきいきサロン第4 (午後1時半～) ・阿津賀志学級寿祝敬老会
4 土	・国見フラウエン創立 50周年記念演奏会 ・少年仲間づくり教室
5 日	・ピラティス教室 (4回目)
6 月	・いきいきサロン川内 (午後1時半～) ・休館日

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため記載の各種事業やイベントなどが中止・延期となる場合があります。最新情報については町ホームページ又は担当課などへ確認してください。

12月の休日当番医 (診療時間：午前9時～午後5時)

当番日	医療機関名	電話番号
5 日	ミツバチいたみと眠りのクリニック (伊達市宮前 29-1)	☎ 572-5328
12 日	遠藤内科医院 (伊達郡桑折町陣屋 1-6)	☎ 582-6788
19 日	(医) もり医院 (伊達市梁川町希望ヶ丘 24)	☎ 577-7780
26 日	(医) 大泉ほんだクリニック (伊達市保原町大泉大地内 135-2)	☎ 563-7587
31 日	(医) 掛田中央内科 (伊達市霊山町掛田字西裏 49-1)	☎ 586-1315

※当番医が変更になる場合や診療していない科もありますので、事前に電話で確認のうえ、受診してください。

戸籍の窓口

9月21日～10月20日受付分

【当町窓口で受付した方で、町内に住所を有する方を掲載しています】

●おくやみ申し上げます●

吉田 稔さん	86	(第4)
渡邊 孝雄さん	70	(板橋南)
羽根田トキさん	92	(大町南)
村上 昭一さん	67	(第8)
武田 久美さん	82	(第3)
佐藤 康夫さん	84	(鶉町)
岡田 ゼンさん	99	(貝田)
佐久間道夫さん	82	(第12)

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

人口と世帯

令和3年9月30日現在

※住民基本台帳人口

人口	8,653 人	(-9)
男	4,157 人	(-8)
女	4,496 人	(-16)
世帯	3,408 世帯	(-9)

今月の納期限は 11月30日(火)です 忘れずに納めましょう

固定資産税 第4期 ☎ 585-2780	納め忘れにご注意ください 万が一納め忘れがあると、督促状が届いたり延滞金が発生しますので、期限までに納めてください。 なお、町県民税および国民健康保険税は、コンビニやスマートフォン決済でも納付できます。(口座振替申込者を除く) ※町では Twitter で納期限をお知らせしています。 ・国見町公式 Twitter (納期限のお知らせ) ・スマートフォン決済 (町税等) について
国民健康保険税 (普通徴収) 第5期 後期高齢者医療保険料 (普通徴収) 第4期 ☎ 585-2785	
介護保険料 (普通徴収) 第5期 ☎ 585-2125	
※納付書の方は、最寄りの金融機関等で納めてください。口座振替の方は、納期限の前日までに残高の確認をお願いします。なお、再振替は行いません。	

2022 年度版暮らしの便利帳 広告主募集

町では(株)サイネックスと共同で町民生活に役立つ情報誌「暮らしの便利帳」を作成しています。
この情報誌に広告を掲載する事業者を募集しています。
詳しくは問い合わせください。
☎ 585-2113

広告掲載

広告掲載

広報くにみ & 町ホームページに 広告を掲載してみませんか?

町では、広報くにみや町ホームページに掲載する有料広告を募集しています。
詳しくは問い合わせください。
申込期限 (12月号掲載分) : 11月15日(日)まで

広報くにみ	1 枠 (縦 45 ^ミ ×横 174 ^ミ)	12,000 円 / 1 回
半枠 (縦 45 ^ミ ×横 84 ^ミ)	6,000 円 / 1 回	
ホームページ	1 枠 (トップページ下段)	6,000 円 / 月

☎ 585-2113

広報くにみ11月号をお読みいただきありがとうございます。今月は特集として「給食」を取り上げました。国見小学校や国見町給食センターの皆さんには、お忙しいところ対応していただき、本当にありがとうございました。

子どもの頃、毎日食べていた給食。好き嫌いが多かった私は、「食べたくない」「嫌いだから」といつて給食を残したことが何度もあったことを取材中に思い出しました。

今回の取材を通して、給食に関わるたくさんの方たちの思いや願いを感じ取ることができました。毎日の給食は、ただ当たり前前に提供されているのではなく、その一食には子どもたちに向けた『温かいメッセージ』がたっぷり詰まっているということを、皆さんに少しでもお伝えできたら嬉しいです。

(N・S)

編集後記

国見の輝き人

よりよい製品づくりを目指して —

栗原 ^{ゆみ} 由美 さん (藤田宮前)

日特コーセイ株式会社では、主にパーツフィーダ（自動供給排出装置）という製品の製造や販売を行っています。私はその製品の設計を担当しています。設計といっても、設計図を書くだけでなく、製品に使用する部品の選定も行います。どこに、どのような性能・性質を持った部品を使用すれば、お客様の要望する使い勝手や強度、コストに見合った製品を製造できるのかを常に考えて設計しています。

システムエンジニアを目指して専門学校に通って勉強をするなど、ものづくりは昔から好きでした。この会社に入社する時は、単に設計（トレース）だけだと思っていましたが、設計に関するさまざまな業務を行うことになり、初めのうちは会社の皆さんに迷惑をかけながら、手取り足取り教えていただきました。

設計の仕事だけでなく、まれに現場の人と一緒に仕事をするときは楽しさを感じています。現場で製品の組み立てに参加したりすると、自分の仕事の幅を広げてみたいと思うこともあります。また、上手くいかなかったことや、できなかったことを自分の力で解決できると嬉しいし、仕事のやりがいを感じています。



▶ パーツフィーダ

町の製造業のなかで、設計の段階から自社で行っているところは少ないのではないのでしょうか。小さいところでも設計からやれる、技術力で勝負をしているということに自信を持っています。

今後はこれまでの概念にとらわれず、最先端の製品を作っていきたいです。常に世の中の新しい情報を取り入れられるようにして、既存の製品に付加価値を付けた、より良い製品作りができるように努力していきたいです。

※パーツフィーダとは…部品を振動させることにより、一定の方向に決まった姿勢にそろえて供給する機械。



「設計で行き詰ったときは、お子さんに相談してアイデアを得ることもありました」と話す栗原さん。

町長コラム



ま 真こらむ

【第4回】

「柏葉祭で」

柏葉祭。県北中の体育館。まず、生徒たちが体験した総合学習のステージ発表。中学生の目に映る町の姿を写し鏡で見せられたよう。彼らは、柔らかいけどしっかりと核心を突いてくる。行政や大人の「できない理由」を彼らは「言い訳」だとすっきり見抜いてる。私たちは、彼らに何かを諦めさせたり、何かに失望させたりしちゃいけないんだと、心にストンと落とし込んでくる発表が続く。

次は、クラスごとの合唱。いや、これはヤバかった。ビッタビタと決められた。正直に言います。ナメてました、聴くまでは…。指揮もステージ上での所作も全てがスマートなマエストロたち。個性がしっかり音色に出たピアノ伴奏者たち。それに応えて歌う表現者たち。1年生は今しか歌えない絶妙な選曲。2年生は元気で自由でほんとに伸びやか。3年生は安定の声と堂々の音楽づくりで圧倒。みんないい。一所懸命が胸を打つ。連打する。

そしてもちろん、先生たちには感謝です。

引地 真

